

# 特別支援教育課通信 北山の陽だまり



【センター敷地に清楚に咲く山百合】

平成29年7月発行 (第27号)

最近の天候は気まぐれです。梅雨の時期には晴れの日が多く、梅雨明け宣言が出たと思ったら、どんより雨の日が続く・・・ゲリラ豪雨や雹が降るなど、日本、いや世界の気象状況はどうなってしまったのでしょうか？災害だけは勘弁してもらいたいものです。

さて、多くの先生方にとっては、成績処理を終えて夏休みに入り、ホッと一息というところでしょうか？しかし、研修などでご自身の力量アップを図っている先生も多いことと思います。研修センターでも、連日多くの研修を実施しています。校内支援研修も含め、先生方とともに有意義な研修に努めて参ります。

7月26日に特別支援学校の中堅教諭等資質向上研修会を実施しました。その中で「特別支援教育におけるICT活用」の講義・演習を行いました。



【プログラミングの体験活動】

タブレットPCを使い、自動読み上げソフトやプログラミングソフトを使って、どのようなことができるのかを体験しました。次期学習指導要領においても、コンピュータ等の情報機器を積極的・効果的に活用することが示されています。「目的を達成するためのICT活用」を探っていきたいものです。  
特別支援教育課長

## 【市川拓司さん講演会「ぼくが発達障害だからできたこと」に参加して】

7月29日に友部特別支援学校主催の「友五郎塾」が行われました。毎年、発達障害等のある当事者の講演会を計画してくれています。今回は、「いま、会いにゆきます」等、多くのベストセラーを世に送り出した作家の市川拓司さんでした。

小学校時代から落ち着きがなく、「学級崩壊」の原因となり、中学、高校、大学でも「自分の規則」の中で好きなように振る舞っているため、大人にとっては扱いにくい子だったようです。就職してからも、失敗の連続でしたが、「ダメなら次！」とポジティブ思考で生きていたとのこと。低血糖症やパニック障害など、辛い時期に自己治癒のためにはじめた執筆活動で、才能を開花させました。市川さんの特徴として、10代の頃の甘く切ない「ノスタルジックな記憶がポンポン」と発作のように出てくるそうです。

ハチャメチャな学生時代が基本にあるとおっしゃいます。子どもの才能を摘まないようにする教育とはどうあるべきか・・・考えさせられる講演会でした。

TOMOGOROUJYUKU  
**友五郎塾**  
講演会・座談会  
ぼくが発達障害だからできたこと  
日時 2017年7月29日(土)  
13:30~16:00(受付12:30)  
I部 講演会  
II部 座談会  
茨城大学大学院  
准教授 金丸 隆太氏  
ポスター発表 12:30~13:25  
講師 いちかわ たくじ 市川 拓司氏  
講師紹介  
当事者の声に耳を傾けてみませんか  
会場 小美玉市四季文化館(みの〜れ) 森のホール

【友五郎塾の募集パンフレットより】